

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鶴ヶ峰もえぎ本部（単位2：NEXT）			
○保護者評価実施期間	2025年11月 28日 ~ 2025年 12月 8日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 11月 28日 ~ 2025年 12月 8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・共有スペースがあり、施設以外にも活動スペースがある。（トランポリン、バランスボール）	・共有スペース利用時に、職員配置や危険箇所の確認を行い、安全な活動を確保。 ・時間割を作成し他施設との共有を図っている。 ・合同イベントの実施	・季節イベント（クリスマス会、夏祭り）を共有スペースで開催し、子どもたちに特別感を提供。 ・活動前後のチェックリストで安全性を確保。
2	・利用者の特性に合わせた活動を心がけている。	・感覚遊び、学習支援、運動、創作など多様なプログラムを用意。 ・職員が声掛けやサポートを工夫し、成功体験を積ませる。	・家庭でできる支援方法を保護者に共有し、施設と家庭の連携を強化。 ・タブレットや学習アプリを導入し、個別学習やコミュニケーション支援を強化。
3	・他施設と合同イベント、地域のお祭りなど交流の場を広げている。	・地域のお祭りに参加し、子どもたちに社会体験の機会を提供。 ・イベント前に子どもたちへ「見通し」を伝え、安心して参加できるよう準備。	保護者も参加できる「親子交流イベント」を企画し、家庭と施設の連携を強化。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など交流する機会が少ない。	・日常業務が多く、保護者会の企画・準備に時間を割けない。 ・保護者の勤務時間や家庭の事情で、参加しやすい時間帯の設定が難しい。	・年間スケジュールに保護者会を組み込み、早めに告知。 ・保護者会の準備期間をスケジュールで確保する。
2	・職員の研修が少ない。	・日常業務が忙しく、研修に参加する余裕がない。 ・外部研修やオンライン研修の情報収集が十分でない。	・動画研修を導入し、隙間時間で学べる環境を整備。 ・法定研修+スキルアップ研修を年間計画に組み込み、事前に日程を確保。 ・厚労省や福祉系団体が提供する無料・低価格の研修を活用。
3			